

希少植物が分布する

典型的な高層湿原

あもう 天生希少個体群保護林

設定目的

当該保護林は、典型的な高層湿原が所在し、岐阜県ではここでのみ生育するホロムイソウ、ヒメシヤクナゲ、ヤチスゲ等が分布することから、貴重な植物と周辺の天然林の保護・管理をしています。

地況・林況

岐阜県北部、飛驒山地の庄白川山地に細分される多雪（湿雪）地帯の標高約一、四〇〇㍎に位置し、大起伏や小起伏山地に囲まれた高原状の山麓地に、枯れた植物が十分に分解されず堆積して泥炭土となり湿原（天生湿原）が形成されています。

シリーズ

中部の保護林(第55回)

所在地
岐阜県飛騨市



ホロムイソウ

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年（大正4年）以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。



お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612

※詳細は、コードを読み込んでください。